

読むこと Ⅰ

活字体で書かれた文字を正確に識別できない

全 … 学級全体に対する指導や支援

個 … 個人に対する指導や支援

文字と読み方が一致していない場合

①歌やチャンツの際に文字を見せる。全

歌やチャンツなどの音声を繰り返し聞かせる際に文字を提示し、アルファベットの読み方に慣れ親しませる。音声と一緒に文字が提示される動画などを活用する。

②文字とその文字で始まる語句やイラストを示して、文字のイメージを持たせる。全

アルファベットを指導する際に、文字とその文字で始まる語句やイラストを合わせて提示する。フォニックスも指導し、文字の形と読み方、音とその文字を使った語句のイメージを関連させ、連想できるようにする。

③文字を見て一人で読む場面を設ける。全

学級で一斉に文字を読ませていると、一人一人が読めているか教員も児童自身も把握しにくい。フラッシュカードで文字を提示し、順番に1人ずつ読ませる活動を短時間の帯活動として取り入れるなどして、繰り返し慣れ親しませたり、読めるか確かめさせたりする。

似た形の文字を混同している場合

①同じ読み方の大文字と小文字でペアを作らせる。全・個

複数のアルファベットの大文字と小文字を提示し、その中から同じ読み方の大文字と小文字を選んでペアを作る活動を行う。文字の形と読み方を関連させ、似た形の文字を区別できるようにする。

②特徴が似ているアルファベットを提示し、違いを見付けさせる。全・個

文字の高さに着目して「1階建てグループ」「2階建てグループ」「地下室グループ」に分けたり、形に着目して「○があるグループ」「点があるグループ」に分けたりして、特徴が似ているアルファベットをまとめて提示する。その中で違いを見付けさせることで、文字の特徴をつかませ、識別できるようにする。